



くらはし

舞鶴市立倉梯小学校

学校だより
No.11

令和7年1月8日

自然の力と人の力

新年あけましておめでとうございます。今年の冬は雪もなく温かい年越しとなりました。それでも年末には高い山の山頂付近に積もる雪を見かけました。学校から見える三国岳の山頂も然り。「なみいる山を見下ろして・・・」の歌詞通り、他の山にはない雪がそこにだけ積もっていました。子ども達のいない教室の3階に上がり窓を開けて少しでも近くで見ってみました。朝日が見え始めるとカメラを持つ手と額がほかほかと温くなり「真冬でも太陽の熱ってこんなに感じるのか」と驚きました。朝日が昇り切るまでと思うもののカメラの重みと光の眩しさに耐えきれず、窓を閉めました。その途端、今度はずっと冷えるのを感じました。「この窓ガラスの力ってすごいな」と思わずもう一度開けてみました。校舎改修の際導入されたこのガラスは、地元の企業が作られたものです。2枚のガラスの中に入っているガスは自然界にもあり、空気中のおよそ1%を占めているのだそうです。完成当初は1枚1枚に品質保証のシールが貼ってありました。確かにエアコンの効きは良くなり、暑い夏を乗り越えることができました。



雪を被った三国岳を見に行ったら先で感じたのは「自然の力の偉大さ」と「人の力の素晴らしさ」でした。

IT がますます進化する中で子ども達を取り巻く環境は大きく変わります。教室にいながらも世界中のことが分かるようになりました。けれど物を作り出す想像力は今のところ人の方が勝っています。AI はプログラムは作ってくれますが、何のためのプログラムかは人が命令しなければ書いてくれません。そう思うと何も無いところに描く想像力を持っていることは強い味方であると思いました。このガラスもきっとそういった想像力から生まれた製品だと思いました。ちょうど5年生の国語科の1月教材に「想像力のスイッチを入れよう」という教材がありますが、想像力を鍛えることは子ども達の育ちに欠かせないものです。

太陽を見ながら考えたのは、子ども達にどんな力を付けたいか、そして地元の産業の素晴らしさでした。舞鶴で育つ子ども達を大切にしたいと改めて考えています。本年もよろしく願いいたします。

校長 龜井貴子
教職員一同

1月号「上達」

冬休みの間、どの学年も縄跳びカードを持って練習に励みました。個人練習でどれだけ上達したでしょう。体育の時間が楽しみです。

2学期末の保護者アンケートでは「子どもは体育の時間が楽しみ」と答えてくださった人数が1学期より少し減っていました。3学期はそんな時間が楽しみになるように担任の先生たちもがんばります。体づくりは今年の大きなテーマです。寒い冬を元気いっぱいにご過ごしてみんなで乗り越えましょう。



伝えたい

1223 こんなことを調べよ

4年生が「伝統工芸品」について調べたことを運営協議委員の方々に紹介しました。「自分のお薦め」の伝統工芸品のパンフレットの紹介です。委員さんからは「地域の方がこの部屋に持ち寄って実物を見せるといいね」と提案いただきました。学習で繋がるってこういうことですね。

いろいろな人とつながる力

ホームページ情報

12月下旬～

- ・行永交番連絡会 12/17
- ・もり清水の部屋のお客様 12/19
- ・PTA アルミ缶回収 12/19
- ・学校運営協議会 12/23

